

# 今年も社会福祉大会を開催しました

10月12日(水)に清水文化会館マリナートにおいて、第14回静岡市社会福祉大会を開催しました。多年にわたり社会福祉事業に功績のあった322名49団体の方々への表彰と、医師・医療ジャーナリストの富家孝氏をお招きして記念講演を行いました。また、1,000名を超える来場者一同で、今後の福祉のまちづくりに向けての決意を新たにする場となりました。



「式典」賞状授与の様子



静岡市社会福祉協議会  
広報紙

# みんなの 社カカ しずおか

広げよう福祉の輪  
つなげよう地域の輪

編集・発行 ● 静岡市社会福祉協議会  
発行部数 ● 263,000部



☆静岡市社会福祉協議会ホームページアドレス <http://www.shizuoka-shakyo.or.jp> Eメール [info@shizuoka-shakyo.or.jp](mailto:info@shizuoka-shakyo.or.jp)

## INFORMATION

### 市民交流まつりを開催!

ボランティアや福祉団体が一堂に集い開催される一年に一度のお祭りです!活動紹介、福祉体験やステージ発表、自主製品販売など、会場には笑顔と楽しいこといっぱいとなる一日です。ご来場お待ちしております!

#### ◆市民交流まつり inはーとぴあ清水

と き / 2月5日(日) 10:00~14:00  
と ころ / はーとぴあ清水(清水区宮代町)

#### ◆市民交流まつり in中央福祉センター

と き / 2月18日(土) 10:00~15:00  
と ころ / 中央福祉センター(葵区城内町)

### 「歳末たすけあい募金」にご協力をお願いします

運動期間 / 12月1日~12月31日



「歳末たすけあい」運動は、地域住民、ボランティア、民生委員、その他福祉に関する多くの機関、団体の協力の下に、生活に困っている方々や障がいをもち施設を利用する方々、身寄りのない子どもたちが、明るいお正月を迎えられるよう地域で支えあう「たすけあい」の運動です。皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

問合せ / 静岡市共同募金委員会事務局  
TEL.054-255-7127

### いのちポカポカ 街かどクリスマス

ボランティア・福祉団体による、心温まるすてきな企画いっぱいのクリスマスイベント!ぜひ遊びにきてください!

と き / 12月17日(土) 10:00~14:30  
※雨天予備日:12月18日(日)

と ころ / 青葉シンボルロード(葵区呉服町)  
内 容 / ボランティア活動紹介、福祉団体によるバザー、コンサート、スタンプラリーなど

対 象 / どなたでも  
問 合 せ / 静岡市ボランティア団体連絡協議会  
TEL.054-254-5201

### 第17回 静岡市子育て講演会 「お弁当の日」が生み出す「子育ての時間」

食えることが大好きな子に育てるために、家庭で出来る食育を考えてみましょう。お弁当の持つ力ってなんだろう? どんな役割があるのかな?

と き / 1月28日(土) 13:30~15:00  
と ころ / グランシップ11階 会議ホール「風」  
(駿河区池田) ※託児あり(先着順)

参加費 / 無料  
問 合 せ / 静岡中央子育て支援センター  
TEL.054-254-2287  
FAX.054-254-2337



あの災害から、  
あなたは何を感じましたか?

台風18号通過後の清水区

### 今号の表紙

2014年10月、静岡市は上陸した台風18号により大きな被害を受け、災害ボランティアセンターが立ち上がり、460名のボランティアが活動しました。自然災害による甚大な被害は、その後も日本各地で発生しています。毎年12月の第1日曜日は「地域防災の日」です。あの災害から2年…あなたは何を感じましたか?

### 特集 もしもの時のために、ふだんからできること P2

災害時要援護者を支える取り組み

- 中学生も要援護者を支える存在に! ..... P3  
~我が校の生徒自主防災組織~
- 助けられるのを待つばかりじゃない ..... P4  
~障がい当事者の参加する、避難所宿泊訓練~

《広げよう福祉の輪》災害後も安心して暮らせる地域を目指して... P5  
〈任意団体そなえざあしぞへか〉

### 今年も福祉のお祭りが開催されました!! ..... P6

「第37回 静岡ふれあい広場」 「福祉のまつり2016」

### 支援の輪を広げる相談窓口のご案内 ..... P7

[清水医師会 在宅医療介護相談室] [医療・福祉 なんでも相談会]



- 静岡市社会福祉協議会事務局(静岡市中央福祉センター内)
- 静岡市由比文化連盟
- 代表 佐藤幸治様
- (順不同)
- ユニ株式会社
- アピタ静岡店お客様
- 静岡市由比文化連盟
- ビアゴラフーズコア
- 中田店お客様
- みのり大学西部学級様
- 静岡信用金庫安東支店様
- あいネットグループ様
- 匿名1名
- 吉村弘行様
- 坂野明彦様
- 松下由美子様
- 和代様
- 望月威男様
- 井上明様

心あたたまると寄付  
ありがとうございます  
愛の手  
平成28年  
8月1日~  
9月30日

### 窓口のご案内

○静岡市社会福祉協議会事務局(静岡市中央福祉センター内)	葵区城内町1-1	TEL.054-254-5213	FAX.054-252-2420
○葵区地域福祉推進センター(静岡市地域福祉交流プラザ内)	葵区城東町24-1	TEL.054-249-3183	FAX.054-209-0128
○駿河区地域福祉推進センター(静岡市南部生涯学習センター敷地内)	駿河区南八幡町25-21	TEL.054-280-6150	FAX.054-286-9545
○清水区地域福祉推進センター(はーとぴあ清水内)	清水区宮代町1-1	TEL.054-371-0292	FAX.054-367-2460
同(白銀すこやかセンター内)	清水区蒲原721-4	TEL.054-385-5554	FAX.054-385-5682
同(由比保健福祉センター内)	清水区由比北田450	TEL.054-376-0294	FAX.054-376-0416

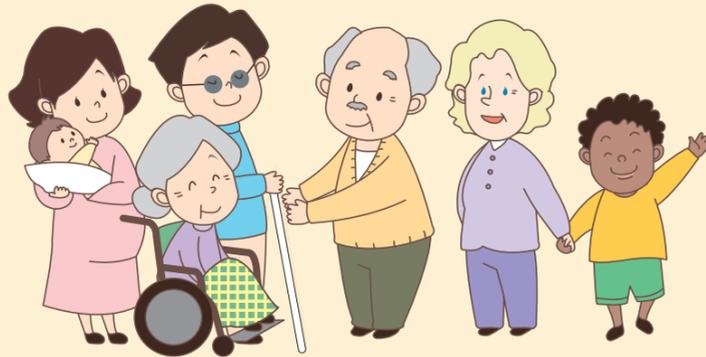
★「みんなの社協しずおか」の録音デジター CD・点訳版を配付しています。詳しくは静岡市社協総務課(TEL.054-254-5213)までお問い合わせください。

# もしもの時のために、ふだんからできること

## 災害時要援護者を支える取り組み

地震や豪雨などの災害が起きた時、あなたはどのような状況にある人だったらどうでしょうか？

- ◆ひとり暮らしや寝たきり状態の高齢者
- ◆障がいのある方（避難に補助等が必要）
- ◆妊産婦や乳幼児のいる家族
- ◆日本語の理解が少なく地理に明るくない外国人



平常時から介護や補助などの支援を必要とする方にとって、自力で避難することや避難生活を送ることはとても大変です。

このような状況にある人を「災害時要援護者」と呼び、非常時には声掛けや避難の手助けなどの支援が必要となります。

地域の中には様々な方が生活しています。災害時などの「もしもの時」にも助け合えるよう、普段から顔の見える関係づくりを行うとともに、だれもが住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、支え合いの仕組みづくりを行うことも大切です。

静岡市内でも地域住民やボランティアの方々が、主体的となって災害時要援護者支援のための取り組みを行っています。

災害時に助けを必要とする人たちの“不安”を解消するには、どうしたらよいのか。そんな「災害時要援護者」に対する活動をしている団体に、お話をうかがってきました。

### 静岡市立清水袖師中学校

地域の活動  
レポート  
1

## 中学生も要援護者を支える存在に！

～我が校の生徒自主防災組織～

### 生徒による自主防災組織を作ることになったきっかけは？

袖師中では数年前までは、12月に行われる地域防災訓練への参加率が低かったため、生徒一人一人の「中学生も地域に暮らす一員として役割を担う」という意識を高め、地域防災活動に生徒自身が迅速かつ主体的に関わることが出来るようにしたいと考えました。

この取り組みは3年前から始まり、地域の期待が年々高まってきています。



受付のお手伝い

### どんな活動ですか？

①生徒全員をそれぞれが暮らす防災地区（概ね町内）にグループ分けし、それぞれにリーダー（地区長、係長など）と係を分担して決めます。

②地区長や係長は、自分が暮らす防災地区の自主防災会担当者と連絡を取り合い、学習会や地域防災訓練の打ち合わせを実施します。（その後、他のメンバーへの報告も行います）

③全員が地域防災訓練に参加し、地域住民と連携し、受付や非常食の炊き出しなどそれぞれの役割を担います。



炊き出しの様子

### 実際に地域防災活動に関わった生徒の声は？

実際に参加し近所の方とコミュニケーションを取りながら役割を果たすことで、「地域の方と交流を深める大切さがわかった」「指示されたことだけでなく自分で考えて行動する必要性を感じた」など、中学生も地域の主力となりうることを肌で感じる事ができたようです。

取材を終えて

もしも、日中に災害が起こったら・・・地域に残るのは高齢者などの要援護者と、地域の学校に通う小中学生だけかもしれません。そのような時、地域を良く知る中学生は要援護者を救う存在に十分になれるのではないのでしょうか。学校が防災教育

の一環として中学生を意識づけるために、ただ防災訓練に参加させるのではなく、事前に役割を決め、地域とつながることで“中学生にもできることはたくさんある”と気づいてもらうことが、いざという時の主体的な動きにつながるのだと考えます。

## 災害が起きた時の不安は？

### 質問1、どのようなことが困りそうですか？

#### 高齢者

- 一人で素早く安全に避難できるか心配
- 家具の固定が出来ないので、倒壊が心配
- 必要物品を買いに行けるか心配

#### 小さい子どもがいるママ

- 日中だと夫が仕事なので、相談相手がいなくて困ります
- おむつ交換やミルク・授乳が大変そう
- 泣き声で他の避難者に迷惑がかりそう

#### 介護事業所職員

- 職員のみで利用者に安全かつ迅速に避難してもらえない心配
- 避難誘導や自宅までの送迎に人手が確保できない

#### 子育て支援センター職員

- 出張などの遠方に出掛けられる時のご利用も多く、災害発生時に速やかにお子様のお迎えに来ていただけるか心配

### 質問2、どのような助けが必要ですか？

#### 高齢者

- 避難の際に付き添ってほしい
- 声掛けしてほしいし、相談に乗ってほしい
- 家事のお手伝いをしてほしい

#### 小さい子どもがいるママ

- 託児所に託児や授乳室などのスペースがあるとうれしい
- 子どもの世話を手伝ってほしい

#### 介護事業所職員

- 避難誘導や救助・介助に助けが必要
- そのために、日頃から地域の方々と顔の見える関係でいたい

#### 子育て支援センター職員

- 小さいお子様の避難誘導には、多くのスタッフの手が必要になるので、近くにいる方にも協力いただきたいです



## ひとりでは守られない命がある

### ～障がい者が自ら動く、命と生活を守る「防災」への取り組み～

静岡市障害者協会は、相互の連携、活動の支援、社会参加の促進、市民への啓発を行なっています。特に防災については、あらゆる障がいに共通するテーマとして、設立以来、宿泊防災訓練など様々な事業を実施してきました。

#### これまでどのような活動をされてきましたか？

避難所での障がい者の生活を考え、平成18年から避難所宿泊訓練や、災害時要援護者支援リーダー養成研修、公開シンポジウムなどを実施しています。

避難所宿泊訓練では、実際に避難所となる学校の体育館等で障がい者が地域住民と一緒に宿泊します。その中で、頸椎損傷で車イスの方が簡易ベッドで就寝しましたが、1時間おきに体位交換が必要で、床ずれができる手前だったということがありました。

#### 災害時要援護者の支援についてどう考えておられますか？

これまでの宿泊防災訓練の経験から、要援護者が望む支援のあり方は見えてきました。その具現化には、地域住民が避難所立ち上げ訓練を行なうこと、関係者が協力し避難所の機能に要援護者支援を組み込むことが重要です。

そこで昨年度から、地域に障がい者を介助者付で派遣し、防災訓練と一緒に活動する「要援護者支援チーム派遣事業」を実施しました。例えば葵区大岩町では、電動車イス利用者が参加し、広域避難地へのアクセス通路についてバリアを無く整備が実現し、誰もが避難しやすい環境が整えられました。



木の根が障がいとなった通路

取材を終えて

### 多くの支援者を生み出すきっかけに

多くの地域住民が参加する訓練に障がい者が参加することで、要援護者の避難の課題や、その後の生活の困難さに気づき、改善する動きにつながっています。

災害時には誰もが要援護者となる可能

性があり、多くの方がその支援に関わる必要があります。今後も災害時要援護者の支援について、地域住民と障がい当事者が共に考えるきっかけを作っていきたいと考えています。

最後に・・・

### 「困ったときはお互いさま」

いざ災害が起きると、人は冷静に行動することは容易ではありません。「もしものとき」に助ける、助けられるよう、不安や課題をひとりで抱えこまず、地域の人と人がつながる、顔が見える関係づくりに、これからも社協は活動していきます。



## 災害“後”も安心して暮らせる地域を目指して

任意団体 そなえざあしぞ〜か



研修会の様子



代表の渡嘉敷 唯之さん

【お問い合わせ】  
任意団体 そなえざあしぞ〜か  
TEL.090-7237-0241

皆さんは「災害関連死」という言葉を知っていますか。これは、災害後の避難所生活中のストレスが影響で亡くなることや、適切な医療ケアを受けられずに亡くなることを指します。東日本大震災においては、亡くなられた方の2～3割が災害関連死であるというデータが出ています。

この災害関連死を防ぐため、主に介護事業所の事業継続計画(BCP)作成の手伝いをしている団体が「そなえざあしぞ〜か」です。BCPの中に盛り込まれる内容は、災害発生直後の人手不足・断水・停電等の状態の中で、どのように介護や医療の通常業務を実施していくかということです。この計画を立てることにより、医療ケアや介護が受けられないことで亡くなる方の数は大幅に縮小できると予測されます。

さらに、事業所のBCPをより効果的にするため、作成した計画を実践できる研修を行ったり、事業所と近隣住民の協働による福祉避難所立ち上げに向けた講演会を開催したりして、地域の防災意識の向上にも努めています。

代表の渡嘉敷唯之さんは「震災直後だけではなく、それ以降も安心して生活できる仕組みを地域全体で考えていく必要があります。その中で、住民・施設・団体をつなげ、連携をとりやすくできればと思っています。」と語ります。

事業継続計画(BCP)とは・・・  
企業や団体が災害などのリスクが発生した後も業務を再開できるようにするための計画

## 元気いきいき!シニアサポーター事業に登録しませんか?



### 「元気いきいき!シニアサポーター事業」とは・・・

65歳以上のシニア世代の介護予防と健康増進、生きがいづくりの推進を目的として、市内の指定活動先でのボランティア活動を支援・奨励し、活動に応じたポイントを集めると地場産品と交換することができる事業です。

対象：65歳以上の静岡市民(介護保険第一号被保険者)

特にこのような活動をする個人や団体は、ぜひこの事業にご登録ください。

- 在宅高齢者の生活上のちょっとした困りごとのお手伝い(話し相手、庭の草取り、掃除など)を行っている個人や団体
- 踊りやギター、囲碁や将棋等のサークル活動をしている個人・団体

### 〈出張登録説明会も随時行っています!〉

開催時間：30分程度 開催人数：10名以上から  
開催会場：机・いすを参加者数分確保できる会場  
開催日程：希望される日・時間を調整の上、伺います(説明会を実施する会場は、申込者の方で手配していただくようお願いします)

◆登録に関するお問い合わせはこちらまで  
ボランティア・市民活動センター静岡  
TEL.054-254-6330

## 第37回 静岡ふれあい広場

9月4日(日)に葵区呉服町の青葉シンボルロードにて「第37回静岡ふれあい広場」が開催されました。当日は、朝方に小雨となりましたが、午後からは晴天となり4年ぶりに全プログラムを実施することができました。今年には市内の福祉団体やボランティアグループ、企業等58団体が参加し、車いすの体験や手話教室、手づくり品の販売などを通して、福祉啓発・活動紹介を行いました。ステージでは、11団体がダンスや三線の演奏などを披露し、大いに会場を盛り上げていただきました。子どもからお年寄りまで非常に多くの方にご来場いただき、賑わいと活気のあるイベントとなりました。



第37回静岡ふれあい広場実行委員会 東山 喬彦 実行委員長

今年も、ブースやステージ出演団体の皆さまの協力でイベントを盛り上げていただきました。そして、多くの市民の皆さまにご来場いただき、福祉やボランティア活動への理解を深めていただけたと思っています。また、開催にあたっては、市内の高校生などのボランティアスタッフ、協賛の企業・グループの皆さま、多くの支援をいただき本当にありがとうございました。

# 今年も福祉のお祭りが開催されました!

本会を始め、ボランティアグループや福祉団体等で構成された実行委員会によって企画運営される福祉のお祭りが、今年も静岡市内2カ所で開催されました。来場された皆さま、当日ボランティアスタッフの皆さま、実行委員会の皆さま、関わったすべての皆さまありがとうございました。



## 福祉のまつり2016

9月25日(日)清水マリンパークにて、「福祉のまつり2016」が開催されました。今年も晴天にも恵まれ、約3万人の市民にご来場いただきました。チャリティバザーやフリーマーケット、福祉相談・体験コーナー、ステージコーナーなど、会場内はどのコーナーも賑わい、参加団体と市民が笑顔で交流する姿が各所で見られました。また、当日の運営には54名のボランティアの皆様にご協力をいただきました。福引き抽選会やスタンパラリー、会場清掃、交通誘導など、様々な場面でまつりを支えていただきました。今年も多くの皆様のご協力により、気軽に福祉にふれることができ、誰もが笑顔になれるおまつりを開催することができました。

福祉のまつり実行委員会 杉浦 実 委員長

多くの人の笑顔と歓声が会場いっぱいにあふれていたと思います。毎年さまざまな方が祭りを楽しみ、清水の町がにぎわうことが実行委員会や関係者の喜びです。ここまで続けてくれた方々に感謝し、今後もこのまつりが続くことを願います。

# はじめました!! 支援の輪を広げる相談窓口のご案内

支援業務を担う人・機関の人へ

清水医師会 在宅医療介護相談室

静岡市清水医師会・静岡市社会福祉協議会の協同により、全国初の相談窓口が開設されました。

地域を基盤とした医療・介護・福祉の連携を図り、高齢者、障がい者、児童など、地域のだれもが安心して生活できることを目指し、全国初の相談窓口が開設されました。

精神的な不安を抱えた方、病気で仕事ができない方など、医師の診断を受け、適切に生活の立て直しができるよう支援していきます。

●問合せ 清水医師会 在宅医療介護相談室 TEL.054-344-0550



全国初!

あなたの“困りごと”解決のお手伝い

医療・福祉 なんでも相談会

「医療・福祉 なんでも相談会」では、医療をはじめ生活全般に関するあなたの悩みごとの解決を目指していきます。

私たちが相談をお受けします!  
医師・歯科医師・薬剤師・  
看護師・歯科衛生士・  
弁護士・司法書士・  
精神保健福祉士・社会福祉士 ほか

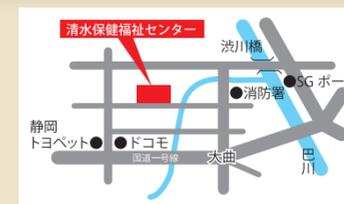


〈開催日時〉平成29年1月21日(土)、3月4日(土) 14時~16時まで(予約不要)

●問合せ 静岡市暮らし・しごと相談支援センター TEL.054-371-0305

- ◆清水医師会 在宅医療介護相談室
- ◆医療・福祉 なんでも相談会

静岡市清水区渋川 2-12-1  
清水保健福祉センター 4階



私たちは静岡市の地域福祉活動を応援しています。

## 空き家対策と円満相続かけこみ寺

今、空き家。いずれ空き家。 初回相談無料  
空室で困っている古いアパート。  
この先、相続どうしよう・・・  
※空き家・中古住宅・土地買い取ります  
静岡新聞社のマイベストプロに登録されました。  
すべては判断能力のあるうちに・・・

269-5525 (株) あいしん不動産  
静岡市駿河区大谷1丁目9-8 東免(2)13207  
空き家問題解消推進委員会・家族信託推進委員会 空き家かけこみ寺 検索

## 広告を掲載しませんか?

静岡市社協では、本紙およびホームページに広告を掲載して下さる方を募集しています。興味のある方は、ぜひお申し込みください。

【資料請求・申込み・問合せ】  
静岡市社会福祉協議会 総務課  
TEL.054-254-5213 / FAX.054-252-2420